

全保協「保育活動専門員」認証制度対象研修

(千葉県保育士等キャリアアップ研修)

令和5年度 保育士の専門性を高める研修会 開催要綱

～保育における家族支援の基礎知識～

1 趣 旨

保育士の資格が国家資格となり、専門職として位置づけられた保育士は、常に必要な専門知識や技術などを吸収し、その専門性を高めていかなければなりません。

特に近年、親の孤立感や育児不安が指摘され、子どもへの保育だけでは対応できない難しいケースが増えてきています。その様な現状を踏まえ、保育士には家族全体を対象と捉え、関係機関や地域と連携しながら適切な支援を行う力が必要となっています。

そこでこの研修会では、これからの保育士に求められる専門性や倫理についての理解を深めるとともに、これからの保育士にとって必要な基礎知識となる家族支援の倫理と実践について学びます。

また、この研修を千葉県から指定を受けた令和5年度保育士等キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援分野)として実施します。

2 主 催

関東ブロック保育協議会／関東ブロック保育士会／千葉県保育協議会

3 後 援

社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国保育協議会／全国保育士会／
茨城県保育協議会／栃木県保育協議会／群馬県保育協議会／埼玉県保育協議会／
千葉市保育協議会／東京都社会福祉協議会保育部会／神奈川県保育会／
横浜市社会福祉協議会保育福祉部会／川崎市社会福祉協議会／相模原市保育連絡協議会／
新潟県保育連盟／山梨県社会福祉協議会／長野県保育連盟／静岡県保育連合会

4 期 日

令和6年2月27日(火)・28日(水)

※保育士等キャリアアップ研修として参加する場合は27日(火)、28日(水)、29日(木)

5 会 場

ホテルグリーンタワー幕張 4F ロイヤルクレセント
〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-10-3
・JR京葉線 海浜幕張駅より徒歩約3分
・JR総武線・京成線 幕張本郷駅からバスで15分
TEL:043-296-1122

6 参加対象

- ・保育士として5年以上の実務経験を有している方
- ・保育所等の保育現場において、各専門分野に関してリーダー的な役割を担う者(当該役割を担うことが見込まれる者を含む。)

7 定 員

80名(先着順)

8 参加費

15,000円

ただし、千葉県内の保育所等から保育士等キャリアアップ研修（3日間）として参加の方については、無料となります。

9 受講認定書

- ① 2月27日（火）・28日（水）の全課程修了者（5単位）には、関東ブロック会長名において受講認定書（100ポイント）を発行します。
- ② キャリアアップ研修として、2月27日（火）・28日（水）・29日（木）の15時間全科目終了者には、千葉県社会福祉協議会 会長名において保育士等キャリアアップ研修修了書を交付します。

10 プログラム（予定）※改定保育所保育指針に基づいて行います。

【2月27日（火）】（受付12時15分～）

時 間 ・ プ ロ グ ラ ム	趣 旨 等
12:45～13:00 開講式	主催者あいさつ・オリエンテーション
13:00～14:30 講義Ⅰ「保護者支援・子育て支援の意義」 講師：柏女 霊峰 氏（淑徳大学教授）	① 保護者支援・子育て支援の役割と機能 ② 保護者支援・子育て支援の現状と課題
14:40～18:10 講義Ⅱ・演習 「保護者に対する相談援助」 講師：金子 恵美 氏 （文京学院大学教授）	① 保護者に対する相談援助の方法と技術 ② 保育所の特性を活かした支援 ③ 保護者の養育力の向上につながる支援 ④ 保護者支援における面接技法

【2月28日（水）】（受付9時10分～）

9:30～12:30 講義Ⅲ・演習 「地域における子育て支援」 講師：金子 恵美 氏 （文京学院大学教授）	① 地域の子育て家庭への支援 ② 社会資源 ③ 保護者に対する相談援助の計画、記録及び評価
13:30～17:30 講義Ⅳ・演習 「虐待予防」 「関係機関との連携、地域資源の活用1」 講師：金子 恵美 氏 （文京学院大学教授）	① 「子どもの貧困」に関する対応 ② 虐待の予防と対応等 ③ 虐待の事例分析 ④ 保護者支援・子育て支援における専門職及び関係機関との連携
17:00～17:40 閉講式・受講証明書授与	

【2月29日（木）】※キャリアアップ研修対象者のみ（受付9時10分～）

9:30～12:30 講義Ⅴ・演習 「関係機関との連携、地域資源の活用2」 講師：金子 恵美 氏 （文京学院大学教授）	① 社会資源 ② 保護者支援・子育て支援における地域資源の活用
12:30～12:40 閉講式・修了書授与	

1.1 事前課題（受講決定者のみ行う）

参加者は、日常の実践での保護者との関わりにおいて、課題だと感じているケースの概要を別紙事例記入用紙にまとめ、これを10枚コピーし、研修会に持参してください

※事例は匿名化してください。あなたの名前は書かずに、自分の用紙だとわかるようなマーク（文字でもイラストでも結構です）を一番下に記載してください。

記載した用紙は、コピーの時やお持ちになる際などに他者の目にふれないよう注意してください。用紙は演習時にグループ内メンバーに配布し、演習終了後、主催者にて回収・破棄します。

1.2 参考図書

本研修会受講にあたり、以下の書籍を事前に通読することをお奨めします。

【保護者支援・子育て支援の意義】

- ① 柏女霊峰・橋本真紀編著『保育相談支援[第2版]』ミネルヴァ書房 2016
- ② 柏女霊峰監修『改訂2版・全国保育士会倫理綱領ガイドブック』（全社協／全国保育士会編）
- ③ 柏女霊峰・佐藤恵・徳永聖子編『子育て支援・保護者支援』萌文書林 2021

1.3 参加・お弁当申し込みについて

① Google フォーム（URL・QRコード）より参加・お弁当の申込を受け付けます。

申込開始：【令和6年1月9日（火）～1月19日（金）】

※宿泊が必要な方につきましては、各自でお申し込みいただきますようお願いいたします。

※先着順の受付となりますので、定員になり次第、受付期間中でも申し込みを締め切らせていただきます。

<https://forms.gle/HachP4k7geCgsPRH7>



② 請求書等を発送【令和6年1月26日（金）以降】

京成トラベルサービス株式会社より、参加費・お弁当の請求書が発送されます。

※千葉県内の保育所等から保育士等キャリアアップ研修会として受講される方は、無料のため、参加費の請求書は発行されません。お弁当を注文される場合は、当日現金払いとなりますので、ご了承ください。

③ 振込締切日【令和6年2月9日（金）まで】

参加費・各代金については、請求書記載の銀行口座へお振込みください。

※振込手数料は各自ご負担をお願いします。

※2月9日（金）以降に研修会参加を取り消された場合、参加費の返金はいたしません。

※請求書は京成トラベルサービス株式会社から発送します。本研修会は受講料収納事務代行業者（京成トラベルサービス株式会社）と契約しています。

請求等の問い合わせについては、下記へご連絡ください。

京成トラベルサービス株式会社

営業部（担当）金澤

〒273-0005 千葉県船橋市本町4-7-3

電話 047-460-8260（代表）

FAX 047-460-8267

メールアドレス atsushi.kanazawa@keiseitravel.co.jp

お問合せ対応時間：月～金 10時～17時（土・日・祝日除く）

④参加券、お弁当（引換券または予約券）の発送【令和6年2月16日（金）以降】

※お弁当は2月22日（金）以降の取り消しはキャンセル料がかかります。

※参加券は1日目（2月28日（火））、お弁当引換券は2日目（2月28日（水））にご持参ください。

※昼食は注文されたお弁当以外、会場内で召し上がれませんのでご注意ください。

【研修会参加者】①参加券 ②お弁当引換券

【キャリアアップ研修会として千葉県内から参加される方】①参加券 ③お弁当予約券

※1日目（2月27日（火））にお弁当予約券③と代金（1,265円）をお支払いいただき、引換券②と交換します。

個人情報の取り扱いについて

- ・参加申込の際に入力された個人情報については、本研修会運営管理の目的のみに利用させていただきます。
- ・全参加者に配布する研修会資料の中で記載する参加者名簿に、参加者の氏名・都道府県名・勤務先・役職名・参加グループ名を記載いたします。

研修会場までのご案内 ※公共交通機関のご利用をお願いいたします。

会場：ホテルグリーンタワー幕張 4F ロイヤルクレセント

〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-10-3

●JR 京葉線 海浜幕張駅より徒歩約3分

●JR 総武線・京成線 幕張本郷駅からバスで15分

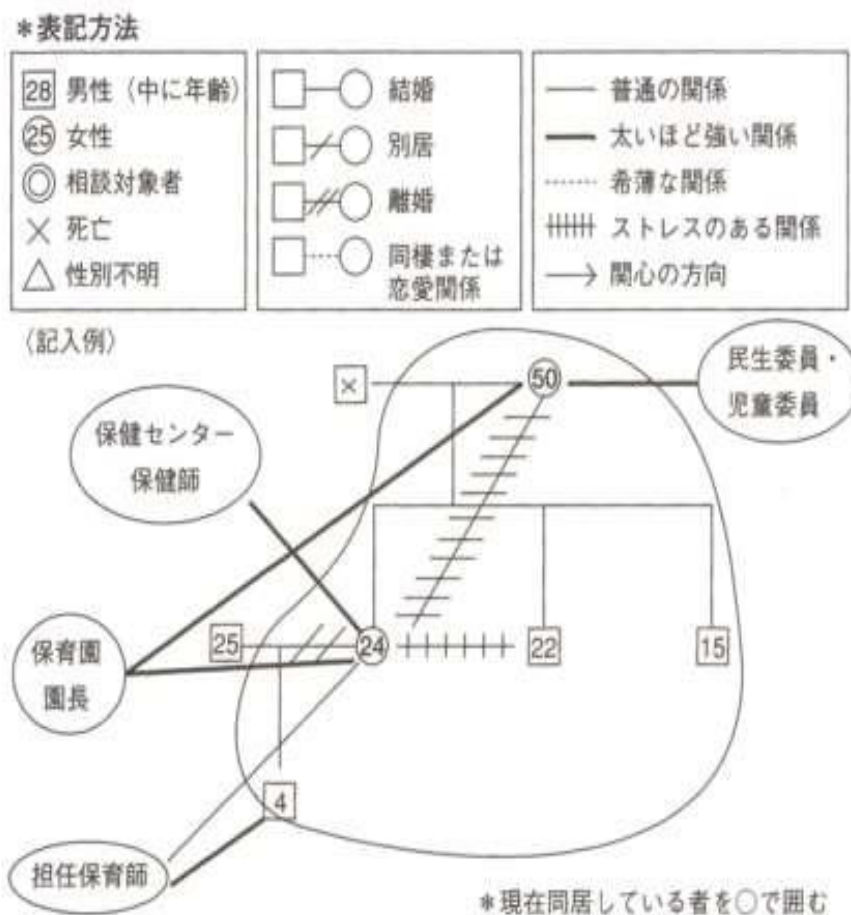


* 事例の記入例

(1) ケースの概略

母は20歳の時に、本児を出産。本児が2歳の時に離婚し、母子家庭となる。
 母はパート勤務で経済的に行き詰まり、祖母・母の兄弟と同居する。
 母は本児を置いて、一人で遊びに出かけることが多い。
 本児の世話は祖母が中心であり、家庭内でけんかが絶えない。
 母は、保育園の園長、保健師を頼りにして、よく話をし、関係は良い。
 しかしその場限りの話が多く、助言をしても、生活は改善されない。
 祖母も、保育園の送迎時に保育園長に愚痴をこぼす。
 祖母は民生委員を頼りにして、よく相談している。
 1ヶ月前に叔父も交えて大げんかとなり、母と本児は3日間、友達の家を転々とした。
 本児は担任との関係も良く、安定していたが、それ以降、園でも落ち着かない。

(2) 家族関係・社会関係図



出典：金子恵美「増補 保育所における家庭支援 一新保育所保育指針の理論と実践」全国社会福祉協議会、2008年

【別紙 事例記入用紙】


日常の保護者との関わりにおいて課題を感じ、支援が必要と感じている事例について、(1)ケースの概略、(2)家族関係図(ジェノグラム)・社会関係図(エコマップ)、を記入し、研修会に持参してください。

* 事例は匿名化してください。(氏名・住所・所属など、個人が特定されることは記載しないでください)

* 記入したこの用紙をお持ちになる際等、他者の目に触れないよう、十分に注意してください。

* 本資料は、研修会時、参加者の家庭支援力の向上のためのみに用います。

(1) ケースの概略



(2) 家族関係・社会関係図

